

輸出事業計画

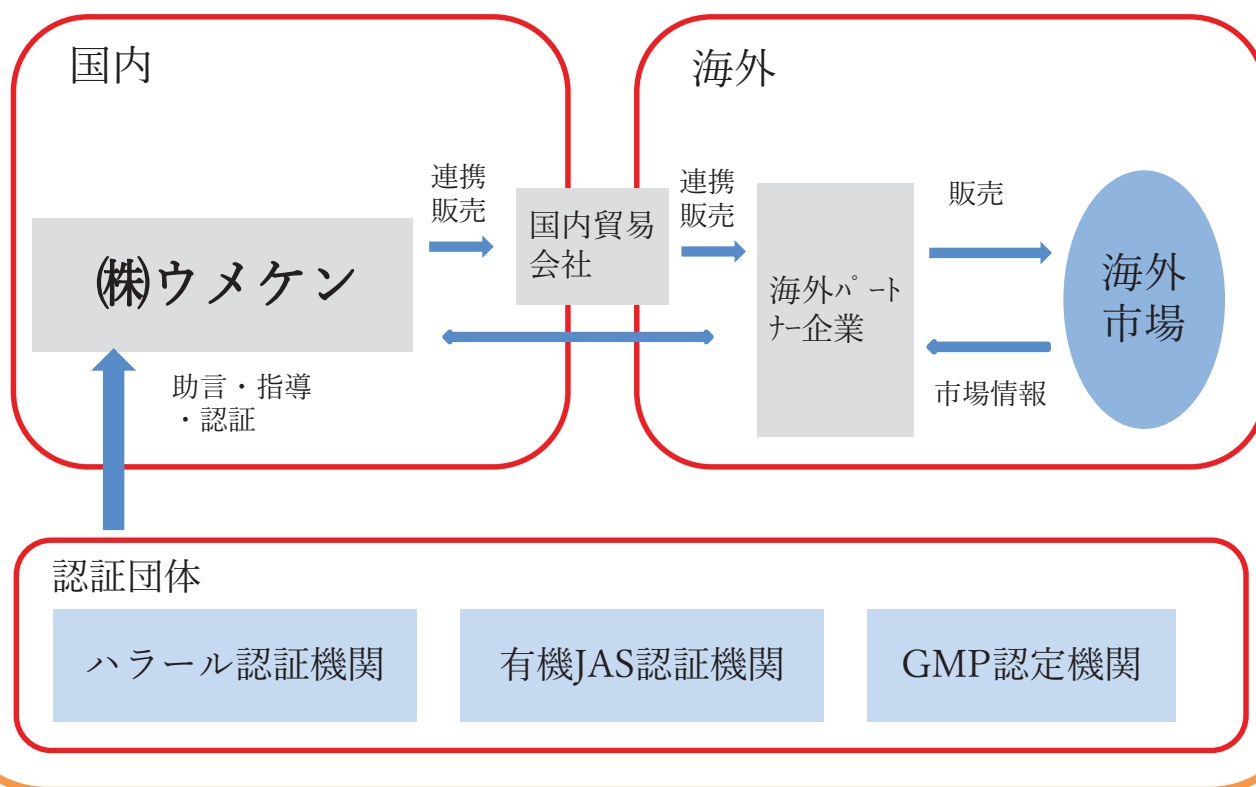
※申請者名：株式会社ウメケン 品目：健康食品

1. 輸出における現状と課題

- ・ターゲット国は、マレーシア、シンガポールとする。
- ・海外向けに展開する健康食品の需要拡大や新たな商品化に伴い、生産能力の大幅な増強などの対応が必要である。
- ・今後も東南アジア各国のイスラム教徒に向けたハラール製品の輸出拡大を狙っているが、各国の規制に対応できる生産設備や人員等の確保が喫緊の課題となっている。

2. 輸出事業計画の取組内容

- ・イスラム圏への輸出拡大に向け、ハラール製品を製造するための専用ラインを増設する。
- ・新商品販売が決定しているマレーシアに関して、海外の現地パートナー企業と連携し、現地市場調査に基づいた販売拡大戦略を確立する(2022～2023年度)
- ・イスラム圏以外への輸出拡大に向けては、工場スペースの集約化により、効率的な製造が可能となるよう製造ラインを移設導入し、北米、中国その他諸国向け輸出製品の生産効率化及び生産力増強を図る。これに伴い、今回のハラールラインの増設分に人員を振り分けるなど、工場全体の生産能力向上の相乗効果を狙う。



輸出事業計画

※申請者名：株式会社ウメケン 品目：健康食品

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

【P(計画の策定)】

現地のパートナー企業を通じて消費者動向、輸入や販売に関する規制情報などをリサーチし、新商品開発ならびに販売計画を検討する

【D(事業の実施)】

計画に基づき、海外での新商品販売を行う。合わせて生産能力の大幅拡充とパートナー企業の販売促進活動への積極支援を実施する。

【A(改善)】

自社での分析結果や現地パートナー企業からのフィードバックを通じて生産能力、商品販売・プロモーション計画の改善に努める。

【C(評価検証)】

輸出需要の変動に即応できる生産体制構築に努めつつ、パートナー企業との緊密な連携を行うことで、いち早く情勢変化をとらえる。また施策実施前後の生産力を比較し検証する。

4. 輸出目標額

輸出国と商品アイテムを増やししながら、輸出額20%増を目指します。

	現状 (令和3年)	目標 (令和9年)
輸出額	15.8億円	18.3億円
輸出量	232万個	264万個
輸出先	マレーシア、シンガポール、 北米、韓国、中国、その他	マレーシア、シンガポール、 北米、韓国、中国、その他